

表銀座コース縦走

2015.7/29～8/1 3名で

古希を記念して、槍ヶ岳登山と表銀座コースの登り納め縦走をして来ました。同行者募集に応募された新潟市のO・Hさんと3名で当初予定の7/29～を天候で順延しました。又初日は大町市のNさんが車で沢渡まで乗せて下さり、徳澤園までご一緒してくれました。

7/29 (水) 晴れ 私は7:10に家を出て、下山地の中房温泉に車を置きに行き、バスで穂高駅に戻る、10:00にNさんら3名と合流して沢渡に、タクシーで11:30に上高地着。
12:00～15:10 横尾山荘 (泊)

7/30 (木) 晴れのち曇り、小雨 5:45～7:20 槍沢ロッジ 7:40～10:10 天狗原分岐 10:20～13:15 槍ヶ岳山荘 (泊)

7/31 (金) 快晴 5:45～6:10 槍ヶ岳 6:35～7:00 槍ヶ岳山荘 7:15～8:00 ヒュッテ大槍 8:10～10:00 水俣乗越 10:10～11:50 ヒュッテ西岳 12:40～16:30 大天荘 (泊)

8/1 (土) 快晴 5:50～6:00 大天井岳 (日本二百名山、2922M) 6:20～6:30 大天荘～9:40 燕山荘 (同行者は燕岳往復、私は展望を楽しむ) 11:30～12:10 合戦小屋 12:25～14:40 中房温泉登山口 (入浴) 15:50～16:20 あずみのちひろ美術館 (見物) 17:00～17:25 Nさん宅 18:00 解散。

上高地から入山



7/29～中房温泉下山時のバス時間に制約されないように、私の車を置きに行くが第1～3駐車場は満杯、路肩駐車となる。バスで穂高駅へ、Nさん達と合流してNさんの車で沢渡の駐車場へ、タクシーで上高地へ。当初予定の大糸線～上高地線～バスの乗り継ぎより1:10早く上高地に到着できた。徳澤園で日帰りのNさんと別れて横尾山荘へ。小奇麗でユックリ寝られて、風呂のあるこの山荘はお薦めだ。

7/30～槍沢のテント場を過ぎると雪渓歩きが続くが軽アイゼンは不要、大曲上部からは夏道となる。高山植物が多くなる。

槍沢雪渓



槍沢上部、ここからの登りが大変でした



小雨がパラツイタので、雨具を着るが30分ほどで止む。大好きな、素晴らしい展望地の天狗原への分岐を過ぎた水場地点でヘリコプターが上空を旋回する、遭難者を吊り上げて行く、けが人との情報。槍ヶ岳山荘手前1時間位からザックが重くなり、膝が前へ進まなくなる。今年は12～13KGのザックを背負ってのテント泊イワナ釣り2回（歩行3～4時間）、カムエクと幌尻岳でそれぞれ4時間強の経験済みだがいずれも高度差が少なかったのので今回は高度差があるので心配だったが矢張り体力的にキビシイ登りになる。

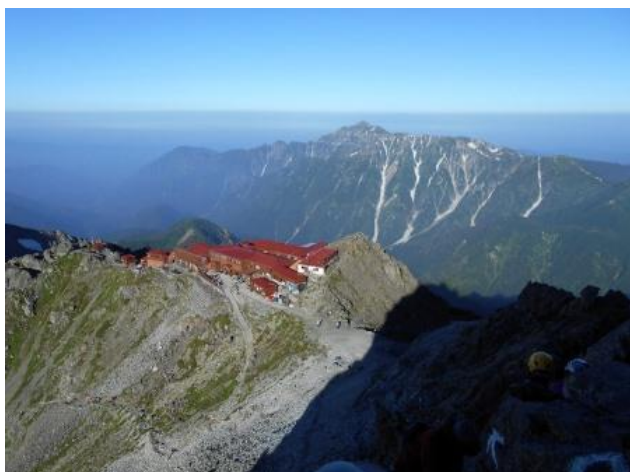
槍ヶ岳山頂



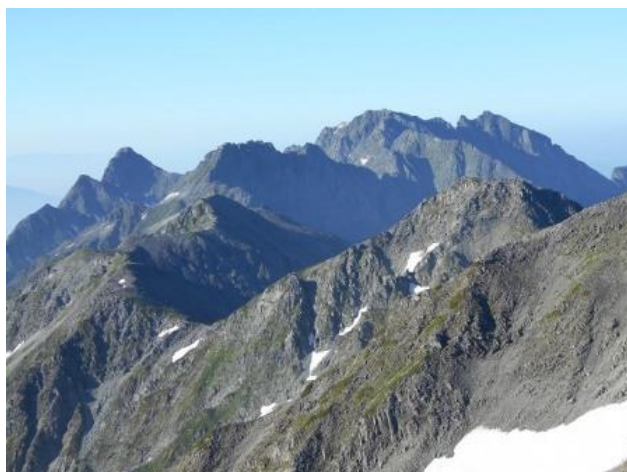
今年が最後の縦走と決めた事は正解だと思った。人間「引き際」が肝心だ。山荘に早く到着したが、天候が良くないし、疲れもあるので登頂は明日にする。夜中も3000Mの山小屋なのに暑い位だった。（猛暑と宿泊者が多いので）

7/31～素晴らしい好天、朝食後古希記念の槍ヶ岳山頂へ。

槍ヶ岳山荘と笠ヶ岳



北穂・奥穂・前穂方面



何回か山荘は通ったり、泊まったりしたが何故か？百名山の時以降2度目の登頂だ。槍ヶ岳は何と言ってもその山容・知名度から登山愛好者の憧れの名山だ。九州・北海道等遠くからやってくる登山者も多いし、昨夜は韓国・中国・台湾の人も多かった。槍の天辺に立つのもこれが最後と展望を楽しむ。

ヒュッテ大槍から槍ヶ岳



下山後は2度目の東鎌尾根を歩く、今回の縦走では一番足場の悪い区間だ。時々振り返っては槍ヶ岳を眺める。水俣乗越を過ぎた所で顔中真っ赤に血に染まった女性遭難者が傘をさしているのに遭遇する。「小屋に連絡してありますか？」と聞くと連絡済との事、旦那さんらしき人がロープを出していたので、山慣れた人だと感じて登山を続行する。その先が足場が悪かったので、足を滑らして転倒して岩に顔を強打したようだ。(帰宅して新聞を読んだら、尾道市の68歳で滑落して頭を切るなど大げたと書かれていた)30分ほど登った地点でロープ等を持参して救助に向かうヒュッテ西岳の小屋番2名とすれ違う。小屋が近づく地点で救助のヘリコプターが飛んで来た。今回は身近な場所で2回も遭難救助のヘリを見た。「何時までも若い気であると、貴方も事故ってヘリのお世話になりますよ！」と警告されたようだが、私はすでに悟っています。懐かしいヒュッテ西岳に着く、ユックリ展望を楽しんで缶ビールでのどを潤す。裏銀コースを縦走した時は朝家を出て、中房温泉からここまで歩いてきて泊まった小屋だ。

になりますよ！」と警告されたようだが、私はすでに悟っています。懐かしいヒュッテ西岳に着く、ユックリ展望を楽しんで缶ビールでのどを潤す。裏銀コースを縦走した時は朝家を出て、中房温泉からここまで歩いてきて泊まった小屋だ。

氷河公園・北穂・前穂



東鎌尾根を越えて来た



ヒュッテ西岳にて乾杯



ライチョウ



9:55のコースタイムで宿帳に記載の際に健脚ですねと褒められたのを思い出す。それに引き換えて今回は年齢を感じる。展望と高山植物を楽しみながら15:20大天井ヒュッテに。朝槍ヶ岳山荘で大天荘の予約をしてしまったので・・・

大天井岳



疲れてここで宿泊したいがあと40分歩かねばならない。コマクサの群生等に癒されるが大天荘までの登りは足が重かった。小屋手前でライチョウの親子を見る、予定より遅れて小屋着。今日も体力低下を感じる。2階の大部屋に4人のみ。そのせいか夜中は寒い位だった。早く着いた者は1階の小部屋になったようだ。

8/1～素晴らしい天気だ、朝食後大天井岳

へ、360度の大展望を楽しむ。

槍の右が北鎌尾根・左が歩いた東鎌尾根



展望と高山植物（コマクサ、チングルマ、ハクサンイチゲ、イワツメクサ、ミヤマコゴメグサ、シナノオトギリ、ミヤマダイコンソウ、ウサギギク、ミヤマクワガタ、トリカブト、ハクサンフウロなどが多かった）を楽しみながら燕山荘へ。小屋の手前のコマクサ群生地には白いコマクサが咲いていました。同行者は燕岳を往復するが、私は昨年登っているし、中房温泉へ

の合戦尾根（北アルプス3大急登）の下りに備えて省略して、燕山荘前のテーブルで靴を脱いで缶ビール飲みながら展望を楽しむ。特等席で2時間近く炎天下ではあったが飽きる事なく眺望する。

燕山荘前で



そのコースを歩いた時の事を思い出しながら。もう2度と歩く事はないであろうし。中房温泉への下山は土曜日でもあり、登ってくる登山者も多く擦れ違いでのタイムロスと弱ってきた膝と暑さでペースもユックリだったがコースタイムの20分プラスで下山できたが小生の膝は限界に近かった。第一～第三ベンチ間で幾つかのツアー客とすれ違ったが時間的に遅めで小屋の到着がかなり遅くなるのではと推測した。有明荘で入浴してサッパリしました。天候に恵ま

れて素晴らしい、思い出に残る山行になりました。

(咲いていた高山植物は次回掲載します)

無事下山



赤沼健治